

2022 年度卒業予定者対象アンケート結果について

[実施概要]

- ・実施期間：2022 年 12 月初旬～2023 年 3 月 19 日（学位記・修了証書授与式）
- ・回答方法：マークシート方式（紙媒体） ※薬学部は試験的に Qualtrics（Web）で実施
- ・実施状況：回答率 90.5%（回答者数 3,145 人／調査対象人数 3,474 人）（2021 年度 86.0%）
（回答者数の内訳：マークシート 2,984 人、Web 161 人）
- ・マークシート回答の電子化：株式会社教育ソフトウェアに委託

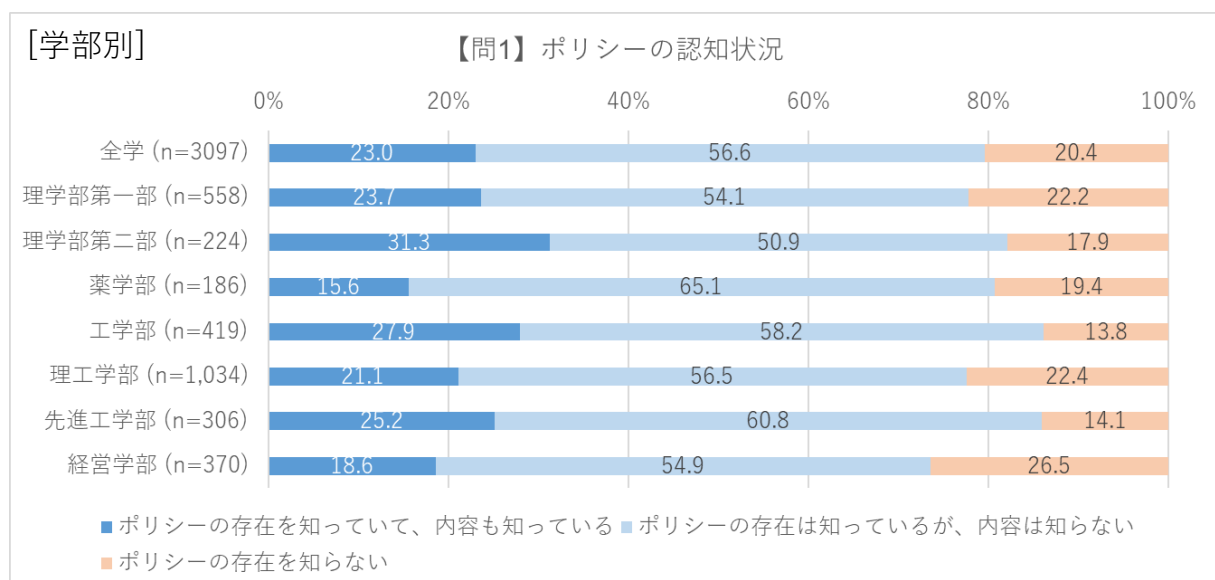
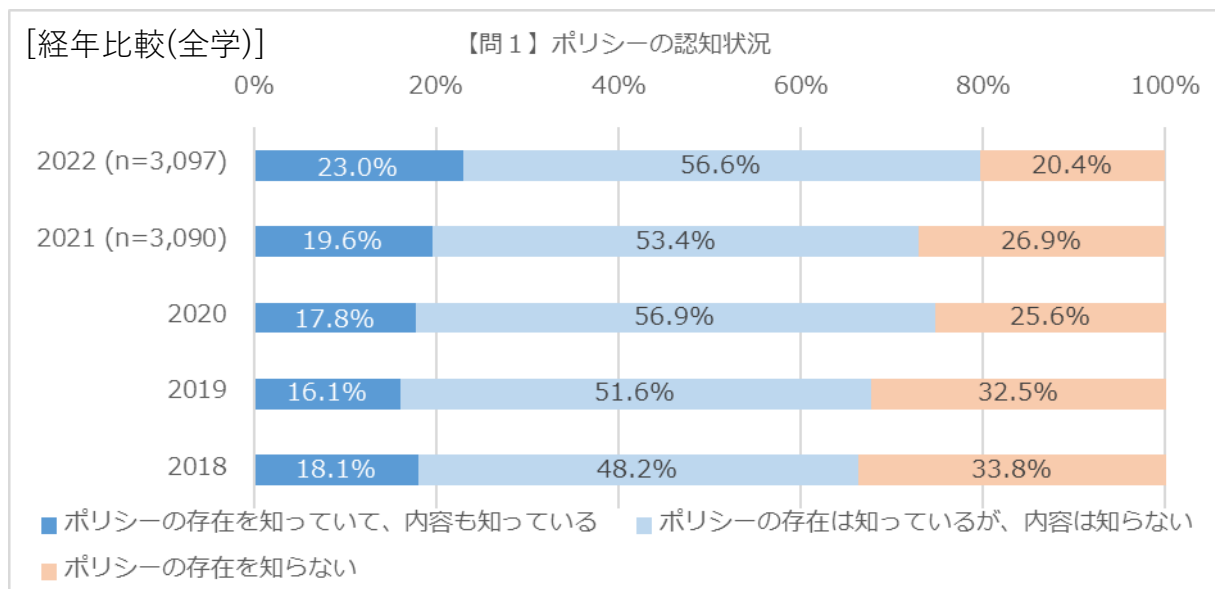
[結果]

1. 3 つの方針について

【問 1】 所属する学部学科の方針（卒業認定・学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]、教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]）を知っていますか？

【概要】

「ポリシーの認知度」は昨年度から上昇し、79.6%（昨年度 73.0%）となっており、「ポリシーの内容まで知っている」学生の割合が 23.0%（昨年度 19.6%）に微増している。

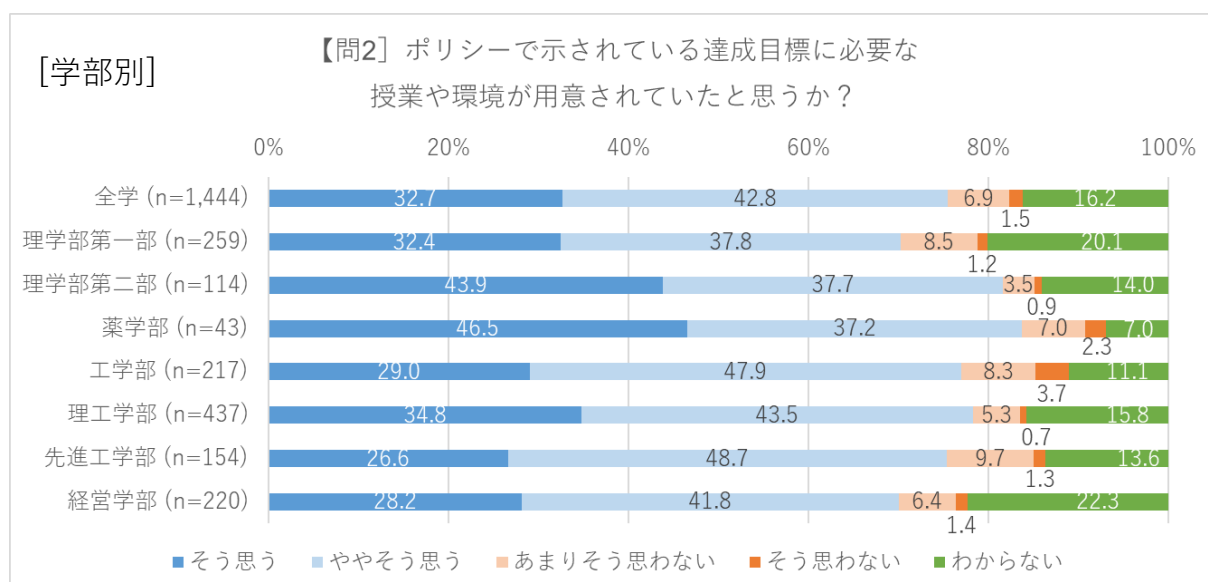
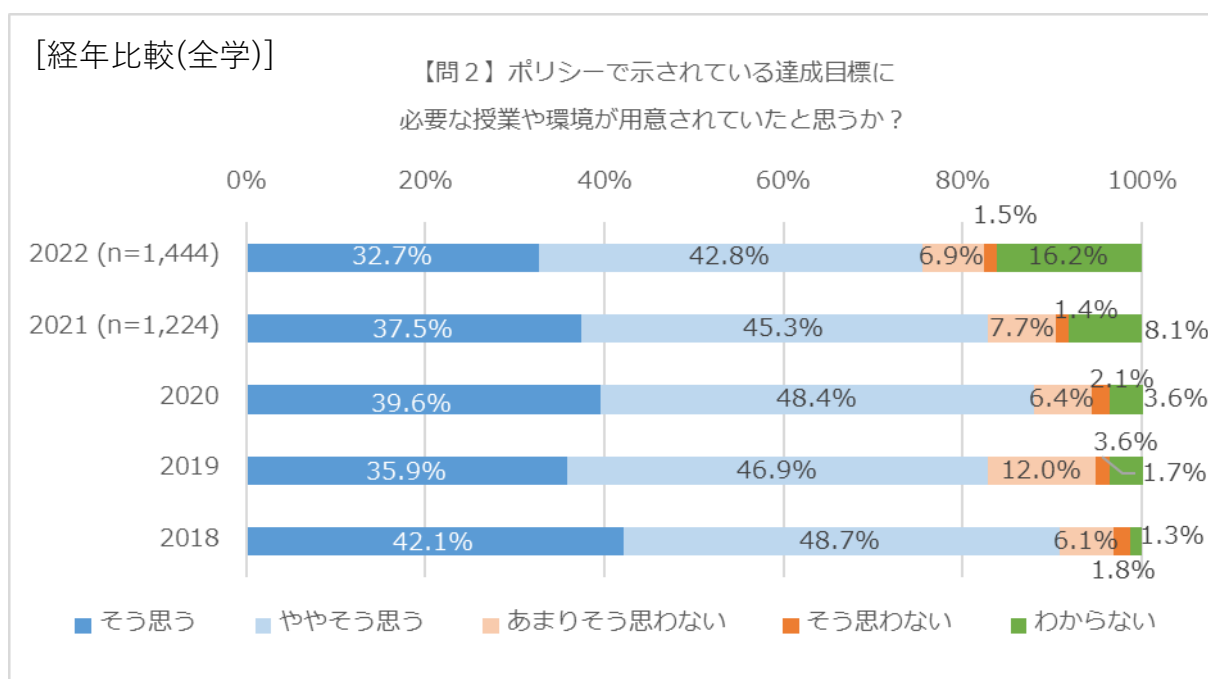


【問2】 問1で「① ポリシーの存在を知っていて、内容も知っている」を選んだ方にお聞きします。
所属する学部学科では、ポリシーで示されている達成目標に必要な授業や環境が用意されていたと思いますか？

【概要】

「ポリシーの内容を知っている」学生の80%近く（75.5%）が、ポリシーで示している達成目標に必要な授業や環境が用意されていると感じていることから、一定程度ポリシーに従ったカリキュラムを提供できていると言える。

また、「わからない」ご回答した割合が年々増加し、今年度は16.2%を占めたことから、ポリシーとカリキュラムの関連を学生に周知することが、今後の課題になる。



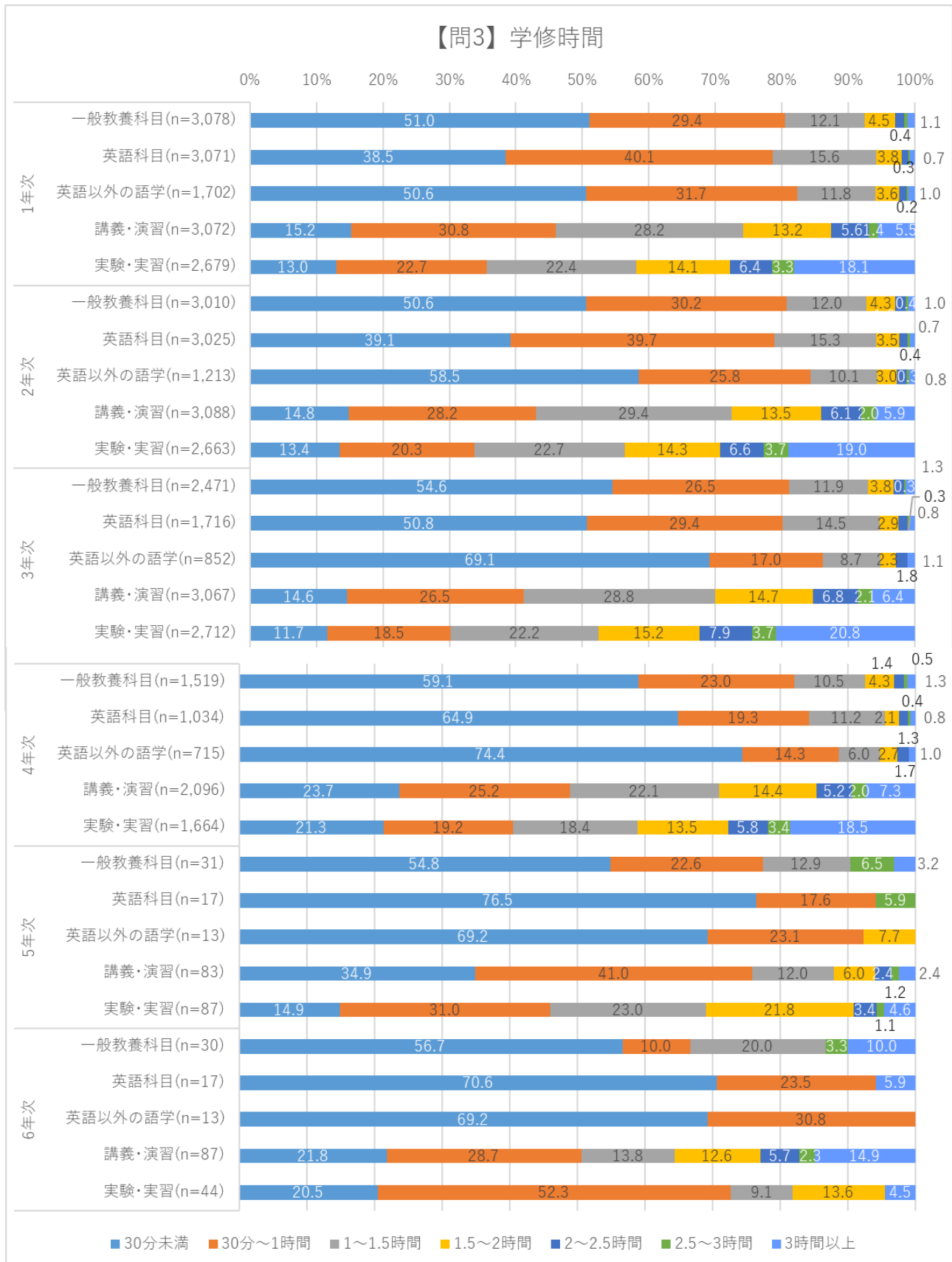
2. 学修時間について

【問3】授業1コマ（90分）あたり、予習・復習を平均でどの程度行いましたか？

自身が最も学修に時間を費やしていたと考える時期の平均学修時間について、年次・区分ごとに、最も当てはまるものを1つずつ選んでください。

【概要】

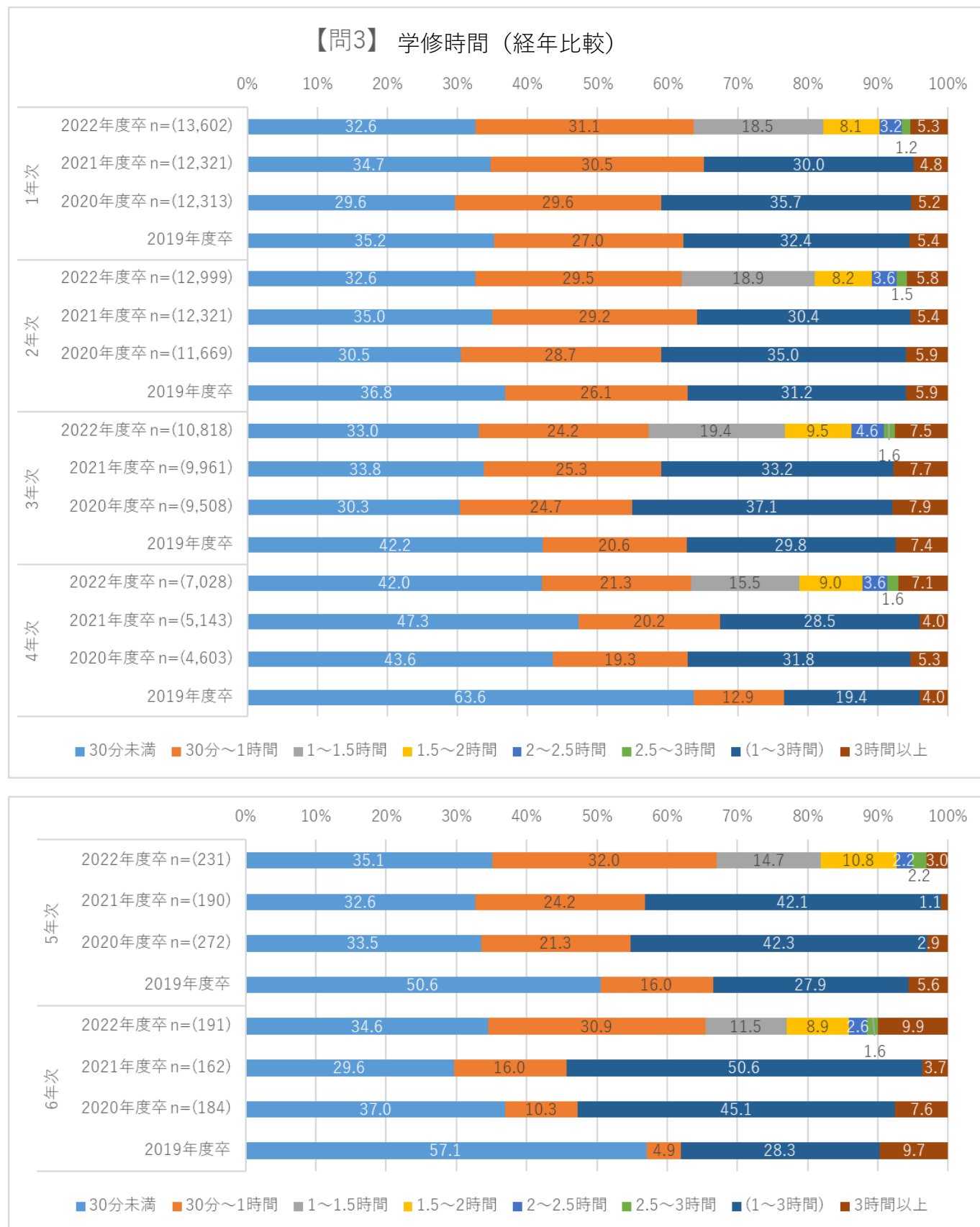
全ての学年で、専門科目の講義・演習、実験・実習においては、授業1コマ（90分）あたりの予習・復習時間は「30分～1時間」「1時間～1.5時間」とする回答割合が高く、実験・実習では、「3時間以上」の回答が約20%を占める。



<経年比較>

全ての学年において、授業1コマ（90分）あたりの予習・復習時間を「30分未満」とする回答が約30～40%となっている。

昨年度まで「1～3時間」で集計していた区分の内訳を明らかにした。内訳は、学年によらず15～20%が「1～1.5時間」、8～10%が「1.5～2時間」であった。



※「履修していない」と回答した学生は、母数に含めずに算出している。

3. カリキュラムについて

【問 4】 所属する学部学科の教育内容・カリキュラムについて、最も当てはまるものを1つずつ選んでください。

【概要】

例年同様、専門分野は全般的に、講義・演習、実験・実習のいずれについても高い興味関心を持ち、成長を実感し、熱心に取り組んでいる傾向がある。特に「卒業研究（ゼミ）」のスコアが高く、卒業研究を集大成とするカリキュラムに沿って学んでいると言える。また、学年が上がるにつれて「かなり当てはまる」の割合が高くなる傾向がある。

一方で、例年同様、「英語」については「あまり当てはまらない・全く当てはまらない」の割合が、他の項目と比べて高い傾向が続いている。

	回答割合(%)	かなり当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	回答数(人)
1. 一般教養科目 (外国語科目を除く)	A. 興味・関心のある科目が多い	22.6	56.3	17.4	3.7	3,120
	B. 成長を実感できる科目が多い	14.5	48.8	29.7	7.0	3,118
	C. 熱心に取り組んだ	20.7	49.2	24.1	6.0	3,110
2. 外国語科目(1) 英語	A. 興味・関心のある科目が多い	11.9	40.0	36.5	11.7	3,090
	B. 成長を実感できる科目が多い	12.1	40.8	33.9	13.1	3,085
	C. 熱心に取り組んだ	17.7	44.1	28.6	9.5	3,086
2. 外国語科目(2) 英語以外の外国語科目	A. 興味・関心のある科目が多い	24.1	45.2	23.7	7.1	1,743
	B. 成長を実感できる科目が多い	20.3	44.4	26.3	9.1	1,733
	C. 熱心に取り組んだ	22.8	44.2	24.8	8.2	1,729
3. 専門科目・基礎科目 1年次	A. 興味・関心のある科目が多い	30.5	52.4	14.7	2.3	3,107
	B. 成長を実感できる科目が多い	33.9	51.1	12.9	2.1	3,110
	C. 熱心に取り組んだ	38.4	47.0	12.2	2.3	3,103
(1)講義・演習	A. 興味・関心のある科目が多い	33.3	49.8	14.3	2.6	2,657
	B. 成長を実感できる科目が多い	36.5	48.2	13.4	2.0	2,650
	C. 熱心に取り組んだ	44.4	43.6	9.7	2.3	2,647
(2)実験・実習	A. 興味・関心のある科目が多い	32.5	52.8	12.6	2.0	3,110
	B. 成長を実感できる科目が多い	34.1	51.0	12.6	2.4	3,106
	C. 熱心に取り組んだ	38.1	46.3	13.2	2.4	3,102
3. 専門科目・基礎科目 2年次	A. 興味・関心のある科目が多い	36.6	48.6	12.6	2.2	2,615
	B. 成長を実感できる科目が多い	37.5	47.4	12.8	2.3	2,610
	C. 熱心に取り組んだ	41.7	44.7	11.3	2.3	2,603
(2)実験・実習	A. 興味・関心のある科目が多い	41.9	46.4	10.2	1.5	3,106
	B. 成長を実感できる科目が多い	39.6	47.7	11.2	1.6	3,103
	C. 熱心に取り組んだ	44.5	43.9	9.7	1.9	3,100
(1)講義・演習	A. 興味・関心のある科目が多い	44.6	43.4	10.2	1.8	2,663
	B. 成長を実感できる科目が多い	44.1	43.9	10.1	2.0	2,661
	C. 熱心に取り組んだ	50.3	39.2	9.0	1.6	2,657
3・4年次	A. 興味・関心のある科目が多い	68.4	25.6	4.8	1.1	3,097
	B. 成長を実感できる科目が多い	68.3	25.6	4.8	1.4	3,098
	C. 熱心に取り組んだ	70.2	24.2	4.8	0.9	3,086
4. 卒業研究(ゼミ)	A. 興味・関心のある科目が多い	42.8	36.3	15.5	5.4	521
	B. 成長を実感できる科目が多い	43.3	32.9	17.6	6.1	510
	C. 熱心に取り組んだ	46.4	28.8	18.5	6.3	507
5. 教職課程に関する科目	A. 興味・関心のある科目が多い	42.8	36.3	15.5	5.4	521
	B. 成長を実感できる科目が多い	43.3	32.9	17.6	6.1	510
	C. 熱心に取り組んだ	46.4	28.8	18.5	6.3	507

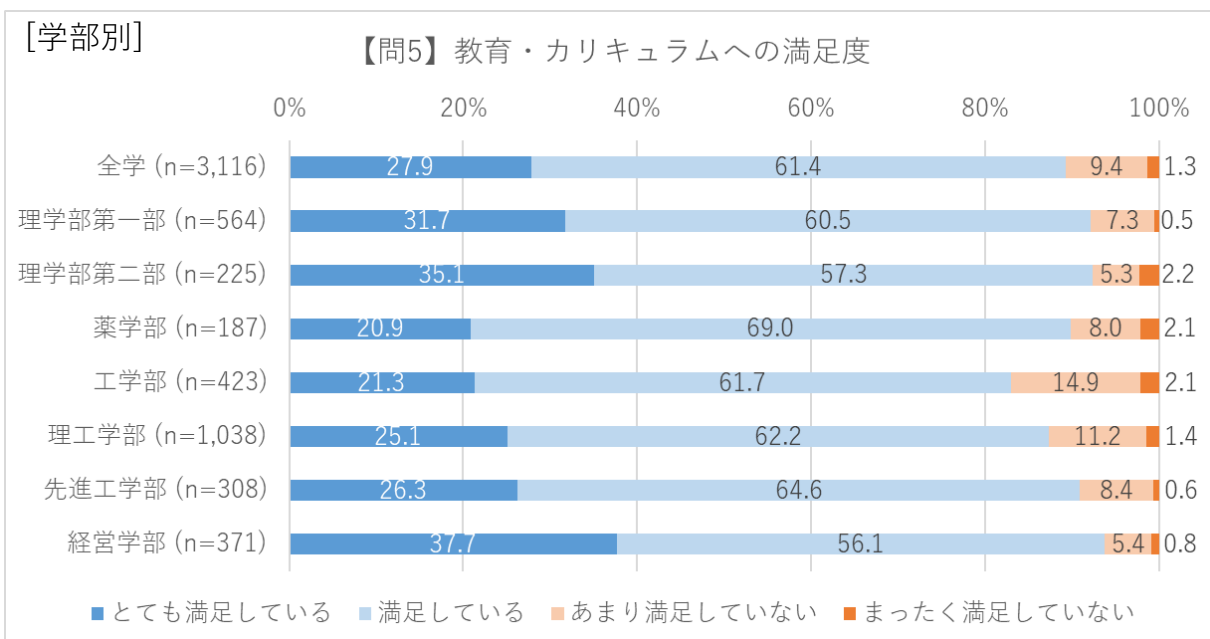
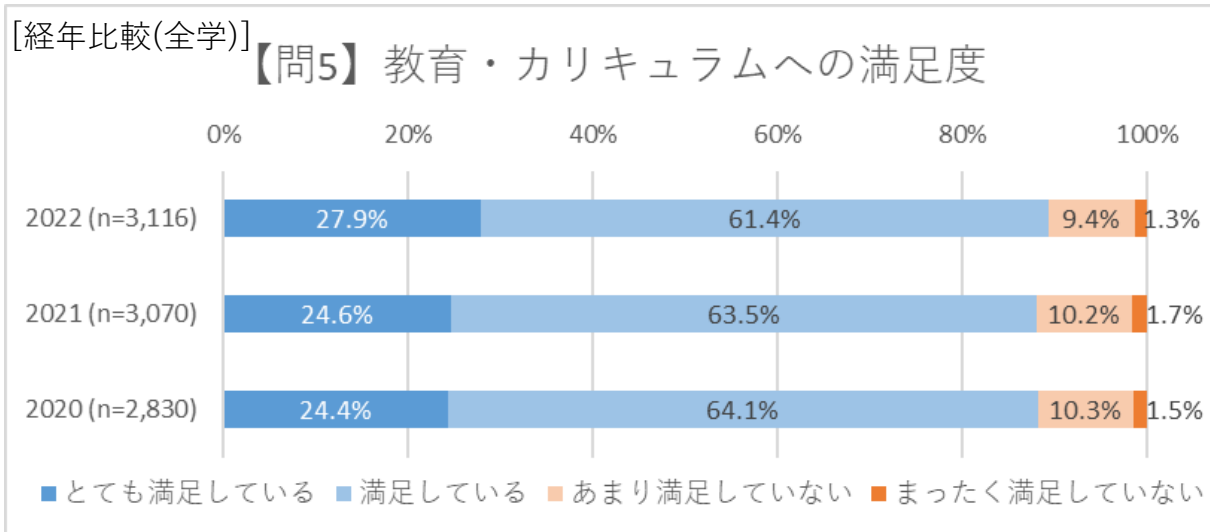
※「履修していない」と回答した学生は、母数に含めずに算出している。

4. 東京理科大学への満足度 (1) 教育やカリキュラム、教員に対する満足度

【問5】所属する学部学科が提供する教育やカリキュラム（講義、実験・実習、研究室など）に対して、どの程度満足していますか。

【概要】

89.3%（昨年度 88.1%）の学生が「とても満足している・満足している」と回答しており、多くの学生が教育やカリキュラムに満足していると言える。



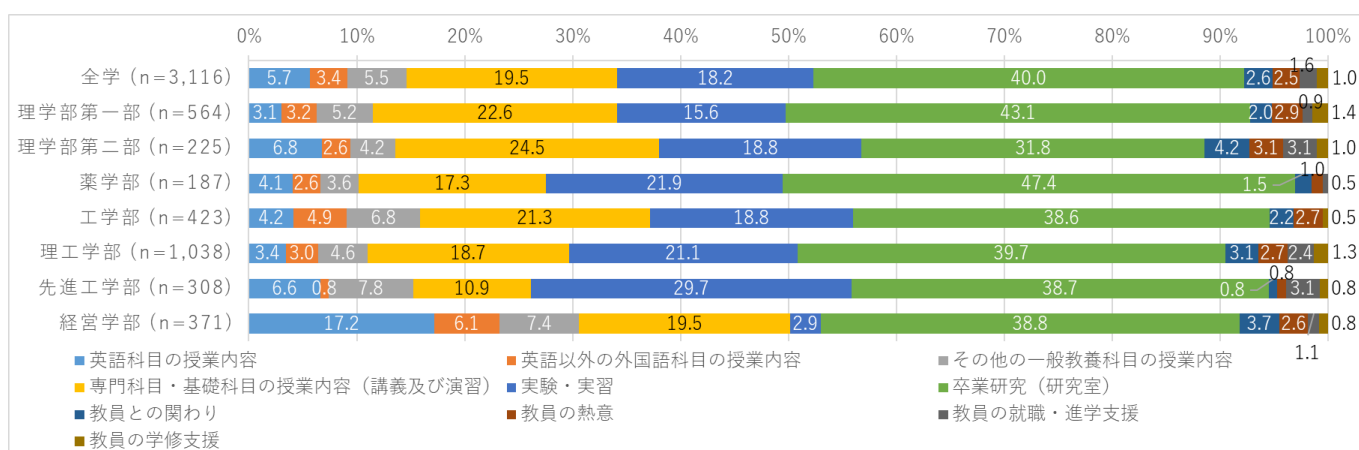
【問 6】所属する学部学科が提供する教育やカリキュラム（講義、実験・実習、研究室など）、教員に関する以下の項目のうち、あなたが満足したものと不満だったものを上位3つまで選んでください。

【概要】

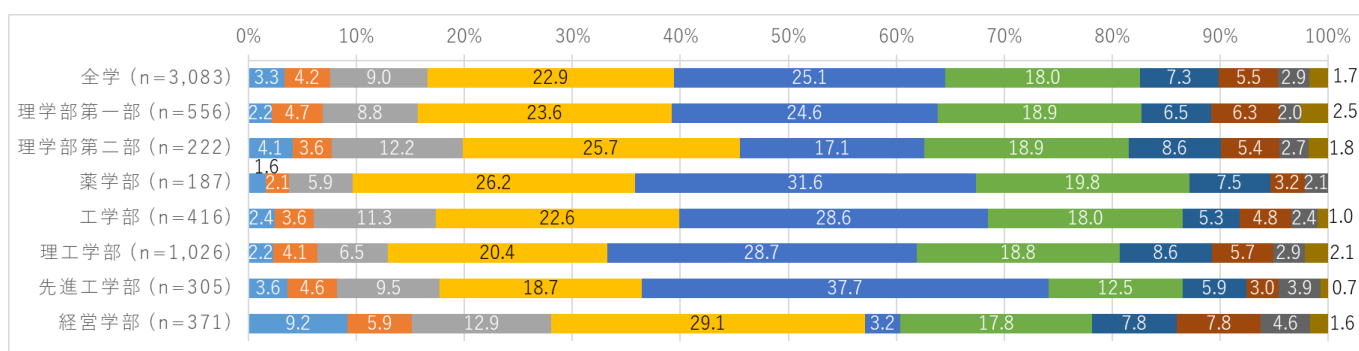
昨年度同様、特に専門分野（＜満足したもの：1位＞「卒業研究（研究室）」、＜満足したもの：1位・2位＞「専門・基礎科目の授業内容」、「実験・実習」）に対する満足度が高い。

一方で、＜不満だったもの：1位＞の約40%を「英語の授業内容」が占める傾向が続いている。ただし、経営学部では＜満足したもの：1位＞の17.2%を占めている。

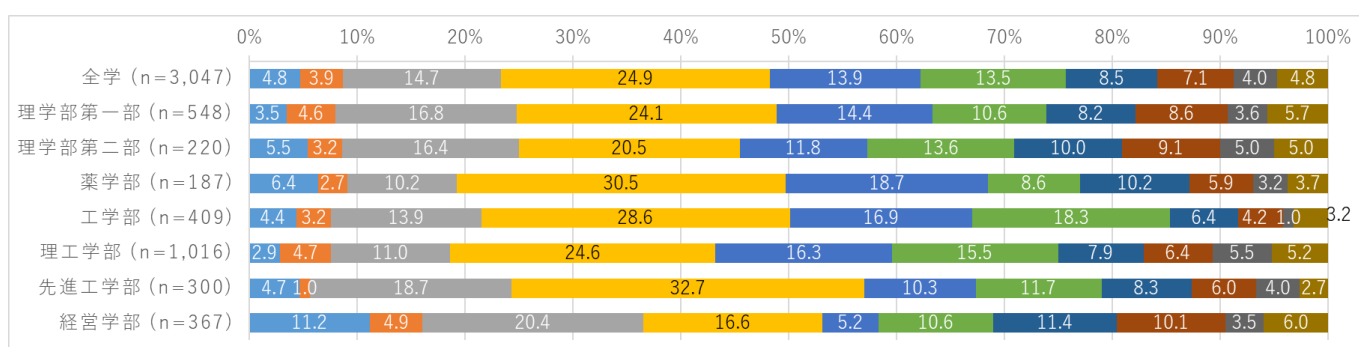
＜満足したもの：1位＞



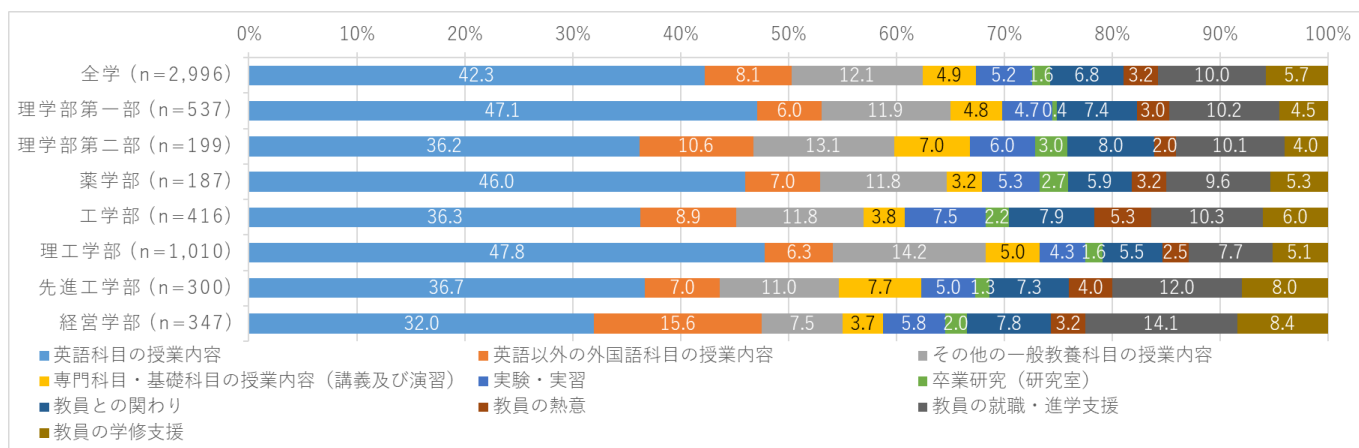
＜満足したもの：2位＞



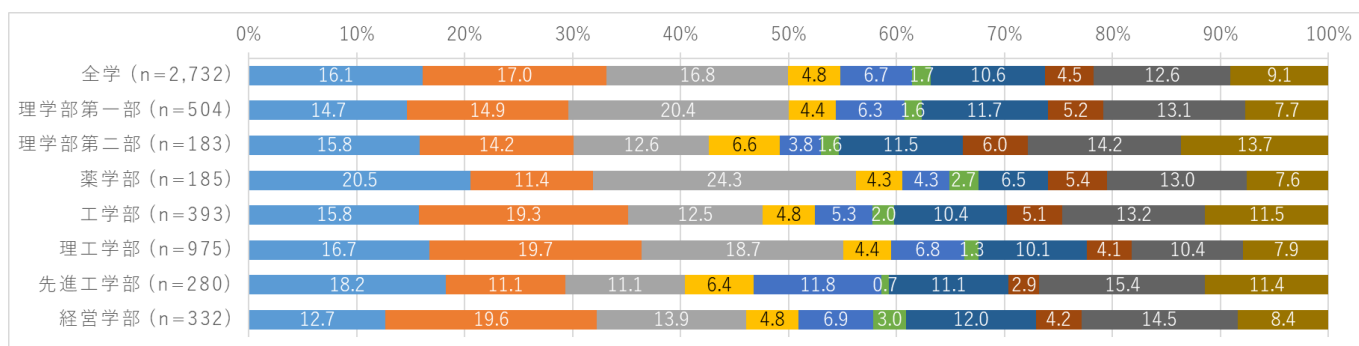
＜満足したもの：3位＞



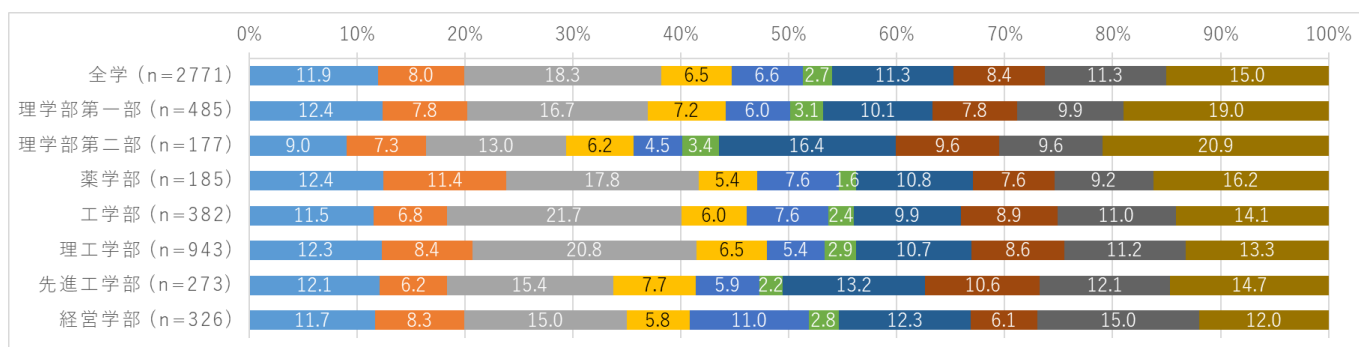
<不満だったもの：1位>



<不満だったもの：2位>



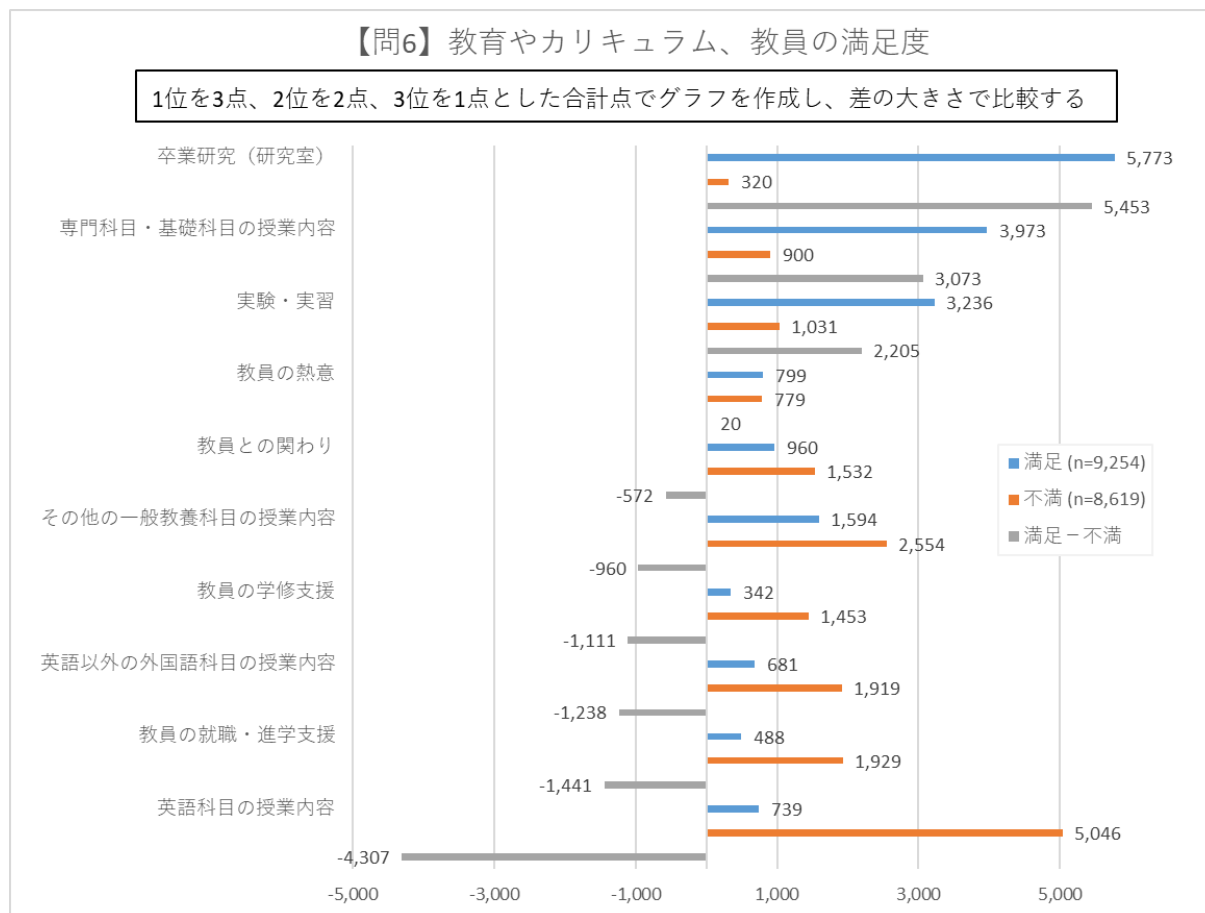
<不満だったもの：3位>



<1位を3点、2位を2点、3位を3点として差の大きさを比較>

(不満足1位は-1点、2位は-2点、3位は-3点)

「卒業研究（研究室）」「専門科目・基礎科目の授業内容」は<満足>のポイントが高く、<不満足>のポイントが低い。

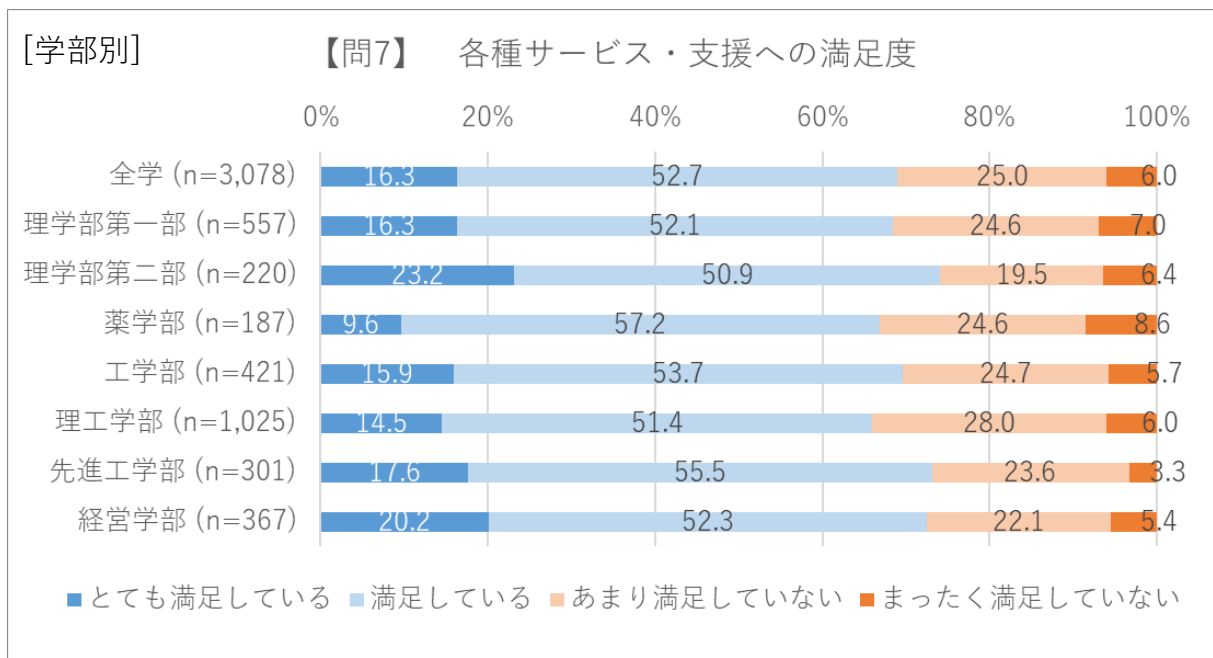
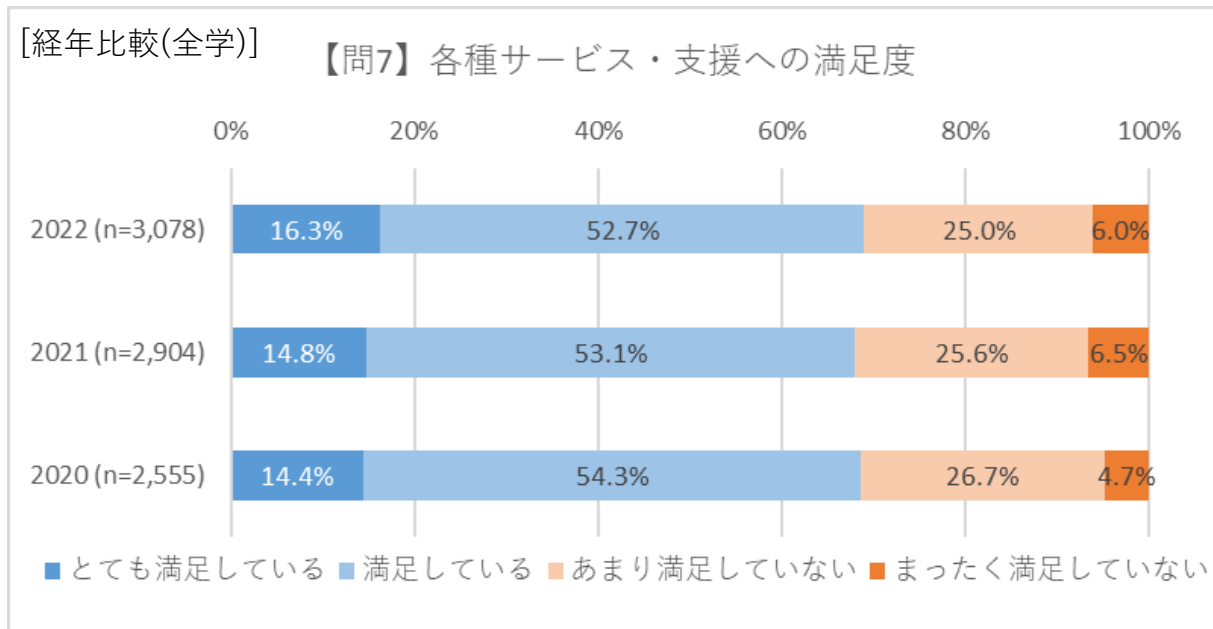


4. 東京理科大学への満足度 (2) 各種サービス・支援への満足度

【問7】 本学が提供する各種サービス・支援（奨学金、施設・設備など）にどの程度満足していますか？

【概要】

例年同様、70%近い学生が「各種サービス・支援」に満足している。



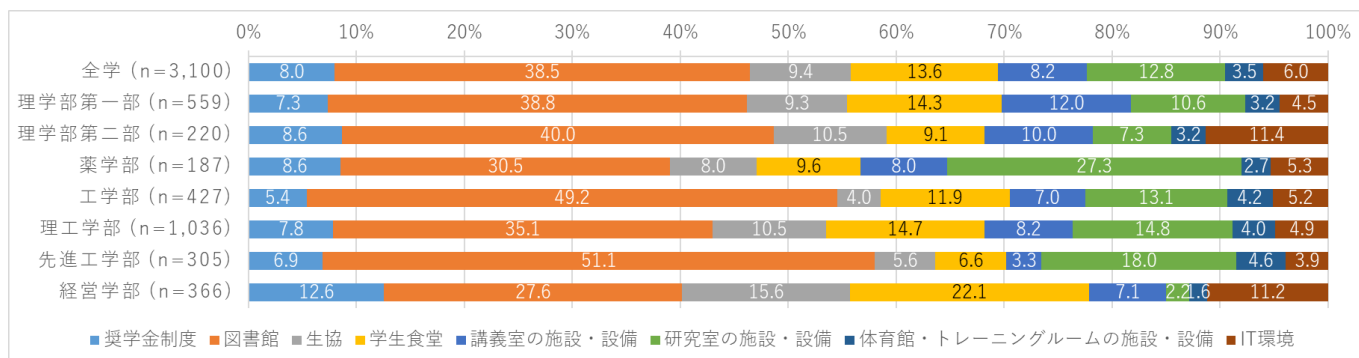
【問 8】 本学が提供する各種サービス・支援（奨学金、施設・設備など）のうち、満足したものと不満だったものを上位 3 つまで選んでください。

※満足度が高いもの（満足度が低いもの）を 1 位から 3 位の順にマーク

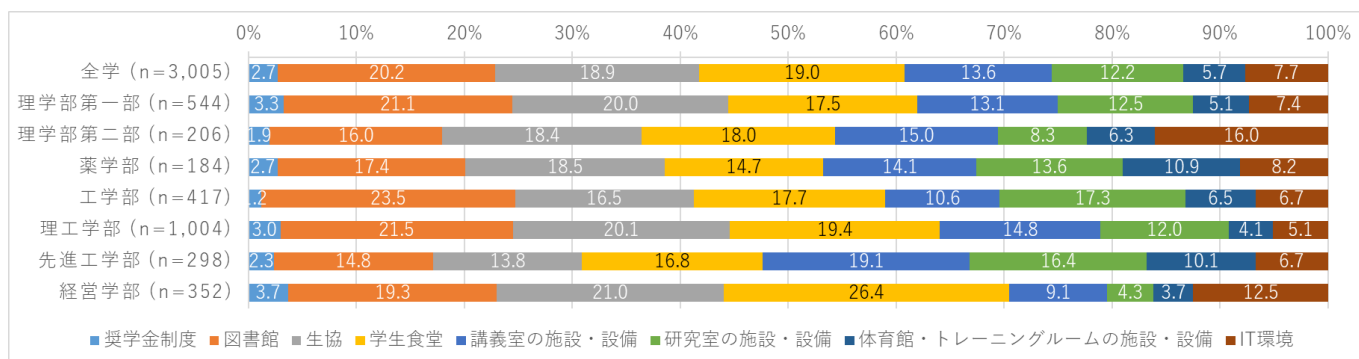
【概要】

特に、＜満足したもの：1 位＞で、図書館施設・設備に関する満足度が高い。

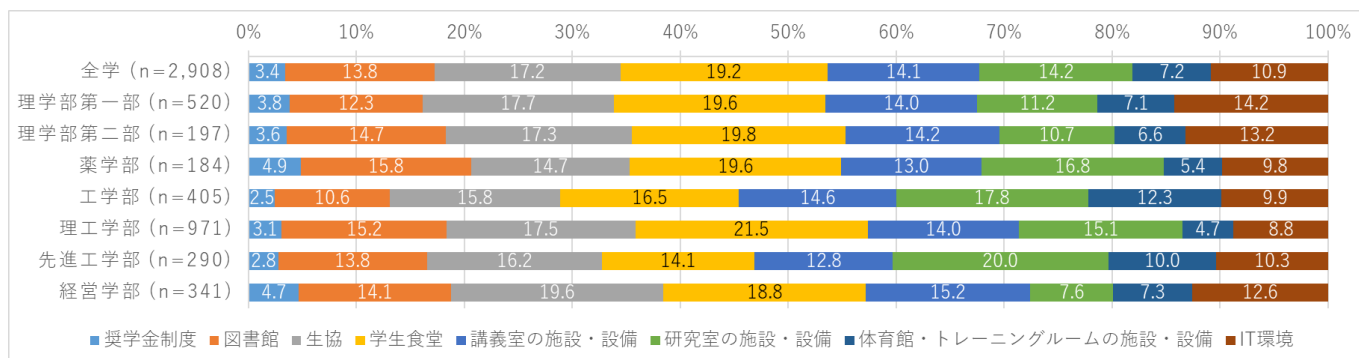
＜満足したもの：1 位＞



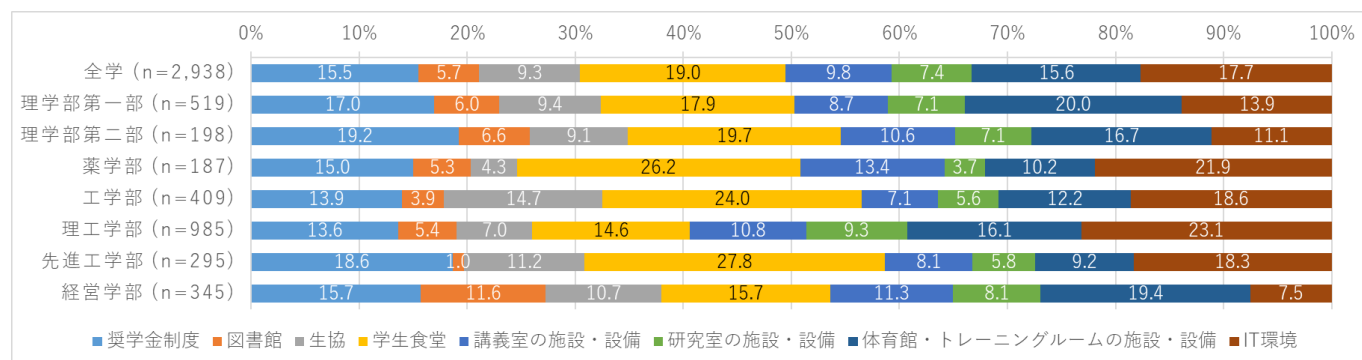
＜満足したもの：2 位＞



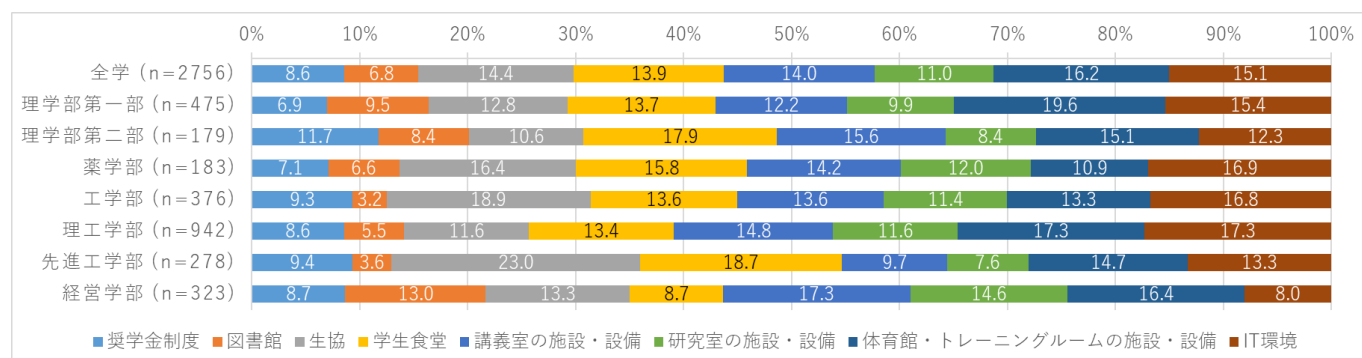
＜満足したもの：3 位＞



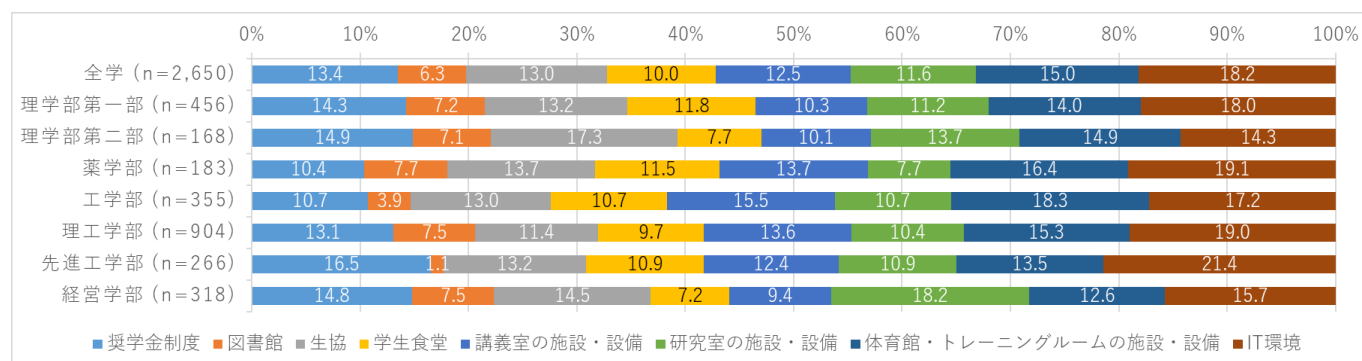
<不満だったもの：1位>



<不満だったもの：2位>



<不満だったもの：3位>

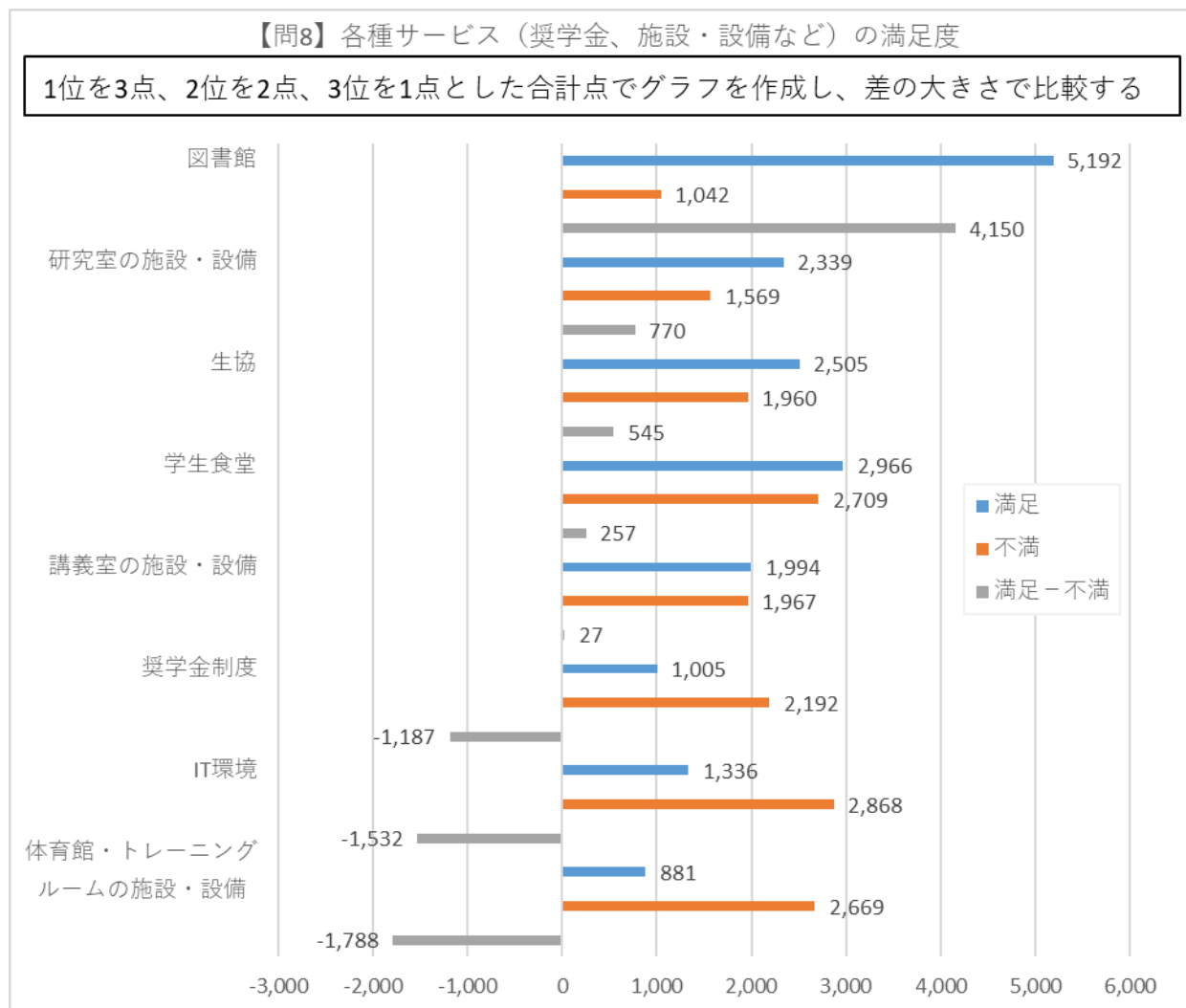


<1位を3点、2位を2点、3位を3点として差の大きさを比較>

(不満足1位は-1点、2位は-2点、3位は-3点)

【概要】

図書館施設・設備に関する満足度が高い。一方、IT環境、体育館・トレーニングルームの施設・設備は不満の方が高い傾向にある。学生食堂、講義室の施設・設備は満足・不満どちらも高い傾向であった。



4. 東京理科大学への満足度 (3) 事務の窓口の満足度

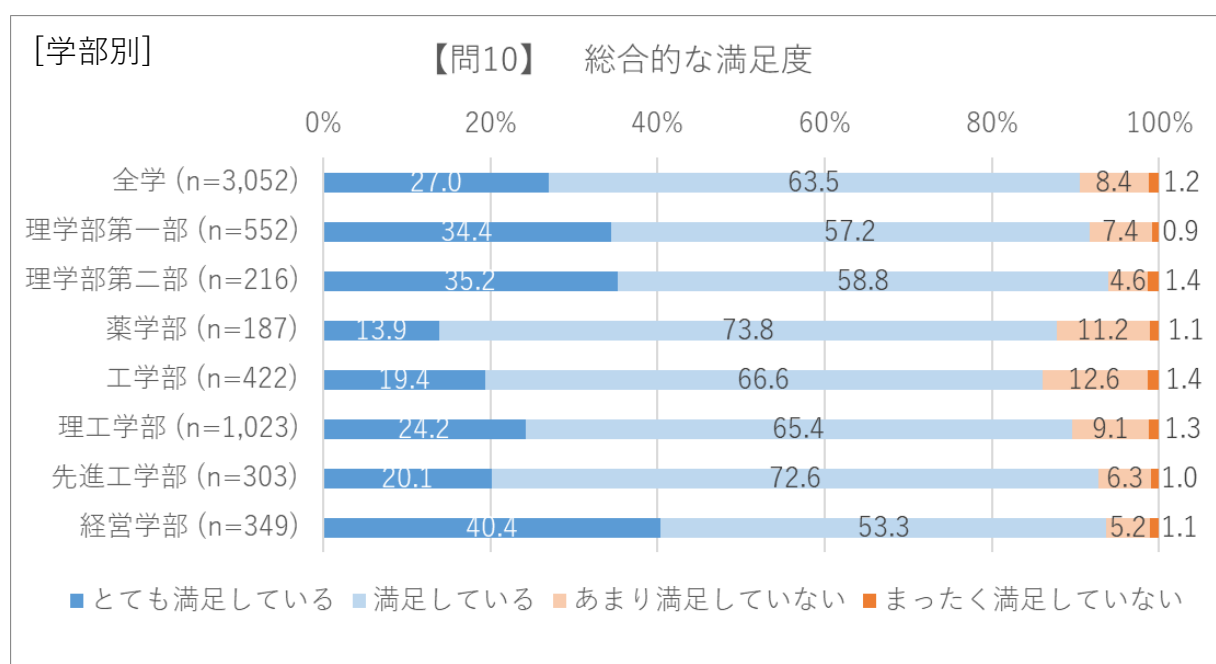
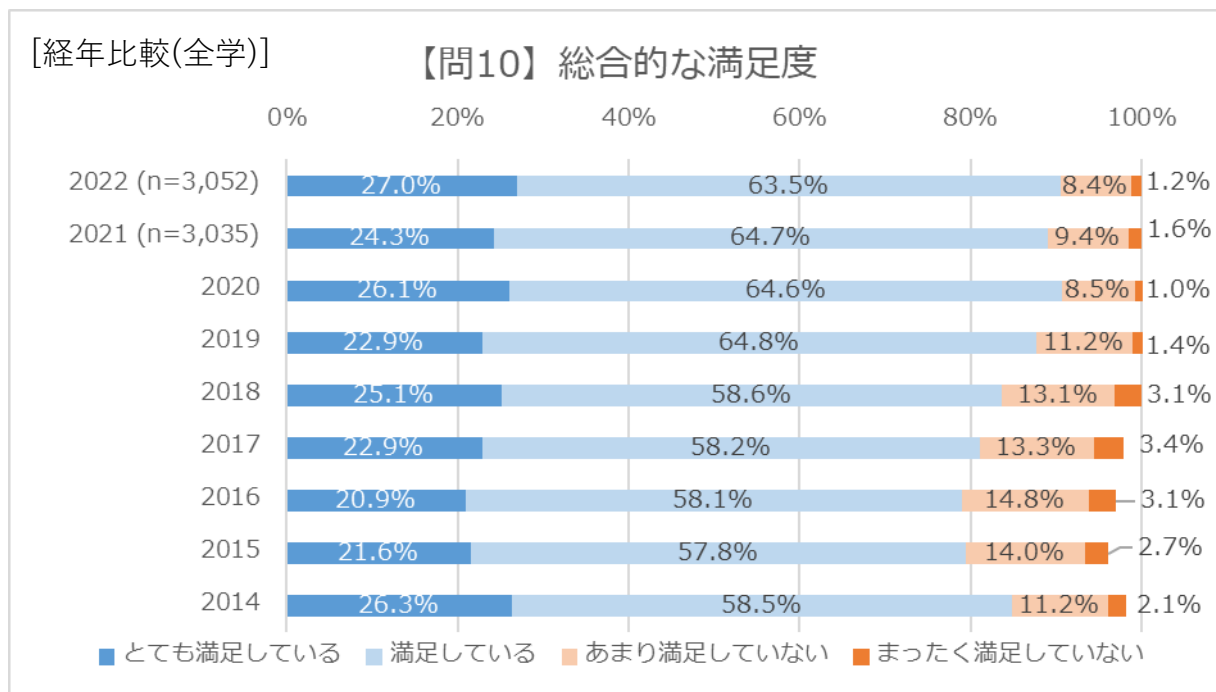
【問 9】 省略（事務部局長会議で報告予定）

4. 東京理科大学への満足度 (4) 総合的な満足度

【問 10】 総合すると本学にどの程度満足していますか？

【概要】

全学的に「総合的な満足度」の肯定的な回答が 90.5%（昨年度 89.0%）となっており、多くの学生が大学生活に肯定感をもって卒業していると言える。



以上